

① 取材

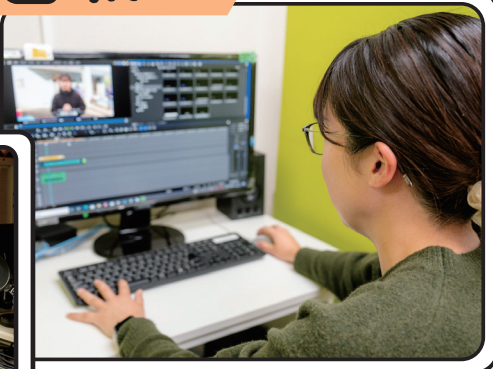
学校行事や地域のイベントなど取材先はさまざま。カメラとマイクを片手に現地へ向かいます。冬は防寒着も必需品です(笑)



どんな番組にするか、完成形をイメージしながら取材...したい

② 編集

大切な場面、見せたいポイントなどを考えて、映像を切ったり、くっつけたり。内容に合わせた編集ができるか...腕が試されます



声入れ作業はちょっと苦手...声のトーンに気を付けています

④ 放送日時決め

どんな人がどの時間帯に何の番組を見るかを分析し、番組の内容に合った放送日時を編成担当と決めます。時には、リクエストで過去の番組を放送したりもします



この番組は14時から放送しましょう!

⑤ 放送



たくさん見てくださいね



もぎたて BOX



市内で採れた新鮮な旬の野菜をギュッと詰め込んでお届けします

コスモスマホ



無料訪問サポート付きでスマホ初心者も安心してお使いいただけます

● 地域に密着しているから
● こんなこともできるんです ●

私たちの仕事は番組制作だけではありません。こんなサービスも提供しています!



テレビ番組が放送されるまで

私が番組の制作現場を案内します

鈴木 七海さん

2003年 中曽根町生まれ
中曽根小→三島西中→三島高校
地域に密着した仕事がしたいと2022年に入社。カスタマー部門を経て、2023年3月から放送を担当。趣味はうどん屋巡り

③ チェック



ここは落ち着いた曲にした方がええと思うよ!

編集した映像を社長がチェック!テロップの入れ方や、私が苦手なナレーションなどにも丁寧にアドバイスしてくれます

女性スタッフ比率が高い
ケーブルテレビ局ランキング
全国第1位*なんです
(*ケーブル名鑑2018)より

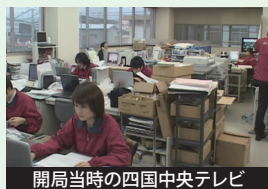
実はうち...



市民が主役
街中がスタジオ
これが四国中央テレビ局

president interview

平成16年4月1日、放送と通信サービスによる市民の一体感醸成と平野部と山間部の情報格差解消という使命を背負い、当社は誕生しました。
会社設立から2年間でケーブルや放送設備を整備し、平成18年3月1日に最初の番組を放送しました。会社設立から2年での開局というのは、ケーブルテレビ業界では異例の早さです。多くの方のご協力のおかげで、早期にサービスを開始できたことに感謝しています。
開局当時、放送に携わったところがあるスタッフは、私を含め2人だけ。初めてカメラを持つ



開局当時の四国中央テレビ

スタッフばかりの放送局でした。取材先での失敗は数え切れず。「録画ボタンを押し間違えていた」なんてこともありましたが(笑)。でも、当時から変わらないうのは「視聴者さまに良質な情報を届けたい」という思いです。視聴者さまから「お祭りが生中継で見られて嬉しい」、「まちのニュースが楽しみ」といった声を聞くと、当地のローカルメディアとして役割を果たせている安堵とともに、更に頑張ろうという思いになります。
これからも「市民が主役、街中がスタジオ」のテレビ局として、地元目線で「面白い」、「ためになる」番組作りを続けていきます。また、放送事業だけでなく、市民の皆さまの生活がより快適になる通信サービスも提供していきます。

まちの魅力をどんどん発信!
放送を通じて地域を活性化!

株式会社四国中央テレビ(三島宮川)

設立 2004年4月
CATV加入率 66.5%(2024年3月時点)



代表取締役社長
井上 仁 inoue hitoshi

1968年 川之江町生まれ
1991年 愛媛CATV(松山市)入社。
開発室室長代行などをを経て、2004年
四国中央テレビに転出。2017年6月
から現職。趣味は少林寺拳法(黒帯)